

# 庁議の概要

開催日 平成27年11月16日（月）

## ◎項目

### 1 各部署等の今週の動きについて【各部署等】

## ◎内容

### 1 各部署等の今週の動きについて【各部署等】

総務部が取りまとめた各部署等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部署による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

#### ○ シーズ・研究内容紹介について

（産学官民連携センター）

「シーズ・研究内容紹介」として、高知工科大学の山本先生に「地域密着型防災システムの構築について」をテーマにお話をいただくので、関係部局からの参加をお願いしたい。

（知事）

これは、結構参加があるのか。

（産学官民連携センター）

約20～30人集まっている。

（知事）

防災の演題であれば、防災関連研究会の方などは来ているか。商工労働部と連携して声をかけてくれているか。

（産学官民連携センター）

テーマによって声かけをしているが、今回はどうか確認をする。

（知事）

このシーズから新しいビジネスプランづくりへという流れができることが一番大事である。

#### ○ 外国人研修制度の活用について

（農業振興部）

週末からフィリピンのベンゲット州に訪問団が行くことになっており、四万十町の次世代団地に入る事業者も参加する。次世代団地では作業員を含め雇用をどう確保していくかということが課題になっており、地元採用にも努めているが、外国人研修制度の活用も視野に入れており、今回参加するもの。

（知事）

外国人研修生という方向ではなく、県外から若い人を呼び戻すといった方向で頑張ってもらった方がいいのではないか。

(農業振興部)

重々承知しており取り組んではいるが、地元での協議の中で、こういった視点も持って現地の状況を見てきたいということになったもの。

(知事)

できる限り高知県の雇用を作り出してほしいと思う。

(農業振興部)

そこは十分承知している。

(知事)

フィリピンに目を転ずるのはいいが、もっと国内で、東京とか大阪とかに転じられないのか。高知市では募集をしているのか。

(農業振興部)

高知市でもハローワーク等を通じ募集をしていくことになっているが、反応は芳しくないという状況もある。全て海外へというつもりはないが、そういう視点を持って今回行かせていただくことにしている。

## ○ 県外からの採用について

(教育委員会)

小学校の教諭が不足するため、現役の教員に県外から帰ってきてもらうことを狙い特別募集をしたが、結果として2名の応募で、県内1名、県外1名という状況である。ただ、それだけ採用に積極的だということはPRできたと思う。

(知事)

人の採用の件はぜひ大阪事務所、東京事務所とも連携し、県外から。県内が大変なら、人口増につながることであり、そこに力を入れないといけない。

(教育委員会)

来年は採用試験の場所も、大阪でも実施したらどうかと考えている。

(知事)

高知の教育を共に立て直そうよと。

(教育委員会)

高知県出身者で県外で教員になったが、親がいるため帰りたいといったこともある。

(知事)

これは教育に限らず、全部局において共通する。呼び戻すということでもあるし、移住ということもある。